

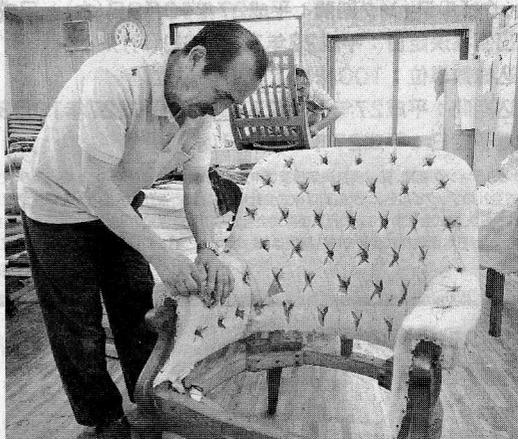
ダニエル

横浜港開港に伴い日本に入ってきた洋家具。その伝統を今に伝えるのが、横浜元町に本社を構えるダニエルだ。1カ月以上かけて製作する同社の家具を求め人は多く、メーカーを問わず受け付ける修理には全国から申し込みが相次いでいる。家具製作の入門講座を職人育成につなげるなど、手作り家具の伝統を次世代に引き継ぐ取り組みも進めている。

神奈川のエンジン

洋家具の伝統、次代に

「家具の病院」は元の素材に忠実に修理を仕上げる



手作りで緻密、職人育成

具のデザインを学び、機械を使わない日本独自の生産様式で作られたものが「横浜洋家具」。現在はホテルニューグランド(横浜市)

2階サロンなどに当時のものが残っている。43年設立のダニエルの前身「有限会社湘南木工」を中

「横浜洋家具の復興にはまずブランドの確立から」

03年には同社の職人が講師を務める家具づくりの講座「家具の学校」を始めた。

「職人の選別もいらんでいい」(取締役専務)。

「家具の病院」では、定年となった職人を再雇用。年間約2000件の家具の修理をこなすなかで、横浜洋家具独自の工程を若い技術者に伝承している。

同社が目指すのは「百年家具」。「家具の病院や家具の学校の取り組みを通して、少しでも長く家具を使う人が増えること」(同)

《会社概要》

▽本社	横浜市中央区元町3の126
▽設立	1943年
▽売上高	5億円(2014年9月期)
▽従業員数	60人

びかけ、72年に協業組合を結成した。これをもとに翌73年、株式会社ダニエルが誕生した。

79年の晴海ショールーム開設などをはじめ、渋谷や新宿、虎ノ門など神奈川県外にも店舗を展開。横浜洋家具の緻密なデザインや耐久性が評価され、2010年には横浜で開催されたアジア太平洋経済協力会議(APEC)にも家具を出展した。

現在でも一度に生産する台数は3〜5台。8月時点では来年1月まで工期が埋まっている状態だ。ここ数年は家具に限らず仏壇でもオーダーメイドの発注が増えているという。

神奈川

横浜支局 045-2201-2555
川崎支局 044-2221-7793